

鶏を病気から守るために適切なワクチンの活用を！

- 養鶏場の衛生管理における基本は、養鶏場への病原体の侵入防止、養鶏場内における病原体の伝播防止、飼育環境の改善などです。
- 家畜の伝染性疾病の発生予防には、適切な飼養衛生管理とともにワクチンの活用が重要です。
- 採卵鶏は飼育期間が長いことから、病原体の感染リスクが高いといわれています。病原体感染に起因する鶏の病気の予防、軽減のためワクチンを有効活用しましょう。
病気は治療よりも、予防が第一です！
- 採卵鶏のワクチンは基本的に産卵開始までに投与しますが、疾病発生の危険性、免疫持続を考慮し、状況に応じて産卵期にも投与する必要があります。
- 鶏のワクチンについて法的に接種を義務付けられているものはありませんが、病原体の浸潤状況、飼育形態、立地環境などを踏まえ、農場毎にワクチネーションプログラムを検討しましょう。
- ワクチン接種による適切な免疫が賦与されていないと…
 - 伝染病の発生
 - 産卵率の低下
 - 最悪の場合、死亡…



<ワクチンで防ぐことができる鶏の伝染病の例>

✓ ニューカッスル病 …家畜伝染病

- ニューカッスル病ウイルスの病原性株によって起こる、家畜産業上きわめて重要なウイルス性疾病。
- 発症すると、緑色下痢便、奇声や開口呼吸などの呼吸器症状、脚麻痺や頸部捻転などの神経症状を示す。
- ウイルスは野鳥に感染・保菌されている。
- 野鳥が保有するウイルスを農場に持ち込まないことと、ワクチンによる対策が有効。

✓ マレック病 …届出伝染病

- マレック病ウイルスの感染によって起こる鳥の病気。鳥の体内のリンパ球に感染し、リンパ腫という腫瘍を作る。
- ウイルスは野外に広く存在するため、鶏が感染しないようにすることは困難。
- ワクチンを受精卵や初生雛に接種することにより、病気を予防することができる。